

各関係機関長 様  
関係者 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 果樹カメムシ類の果樹園への飛来が継続しています 常に園内での発生に注意し防除を徹底して下さい

果樹カメムシ類については、平成29年8月18日付け病虫害発生予察注意報第2号を  
発表して防除を呼びかけていたところですが、その後も多発生で推移しており、一  
部の果樹園では本虫による被害が発生しています。

については、下記事項を参考に防除を徹底するよう指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生状況

- 1) 県内3ヶ所（小城市、佐賀市、太良町）に設置している予察灯のうち、小城市での  
本虫の誘殺数は、8月以降、平年より多い状況が継続しており、地域によっては果樹  
園への飛来数も多いと考えられる（図1）。
- 2) 果樹カメムシ類のうち、チャバネアオカメムシを主体に果樹園（カキ・カンキツ・  
ナシ）への飛来が継続している。  
なお、8月以降は、ツヤアオカメムシの予察灯での誘殺数が平年よりも多くなって  
いる。本種はカンキツでは収穫期まで加害するため被害の発生が懸念される。
- 3) 防除が遅れた園（カキ）では、本虫の加害により果実が落果するなど、大きな被害  
を受けた園も認められる（写真1, 2）。

以上のことから、今後も果樹園への飛来が継続する恐れがある。



写真1 本虫によるカキの被害果  
（平成29年9月19日撮影）



写真2 本虫によるカキの落果  
（平成29年9月19日撮影）

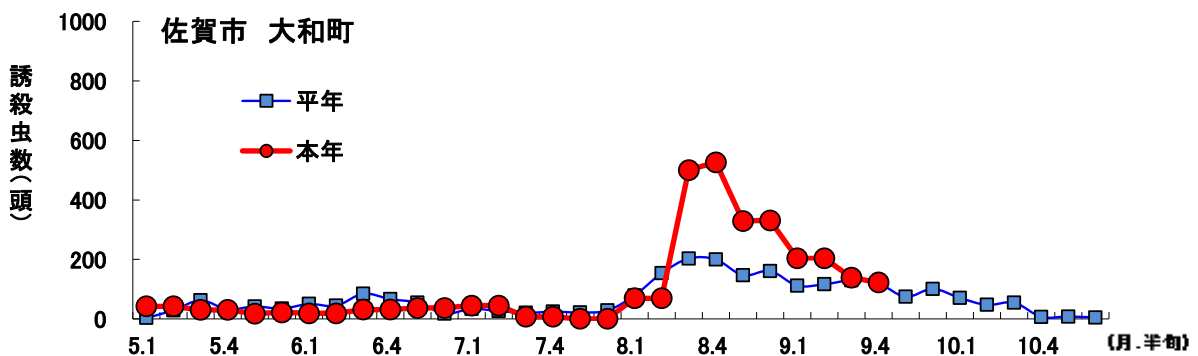
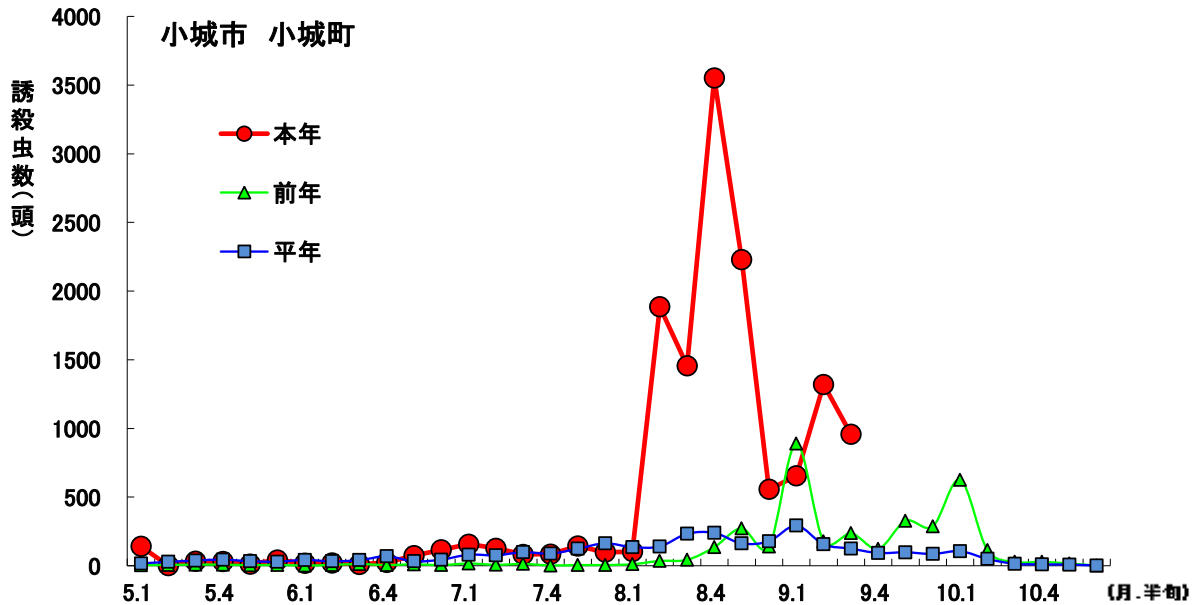


図1 小城市及び佐賀市に設置した予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

## 2. 防除対策

- 1) 園内をこまめに見回り、発生を確認次第、薬剤を散布する。
- 2) 合成ピレスロイド系薬剤やネオニコチノイド系薬剤の残効期間は10～15日程度である。
- 3) ネオニコチノイド系薬剤は、50mm程度の降雨で効果が低下するため、散布後に同雨量以上の降水があった場合は、再散布を行う。
- 4) その他の防除対策及び薬剤に関する情報は、[平成29年8月18日付け病害虫発生予察注意報第2号](#)を参照する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088  
 TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085